

金融仲介の改善に向けた検討会議

北海道のグランドデザインづくりに向けて ～税務データを活用した地域産業分析～

平成28年2月22日(月)

株式会社北洋銀行

取締役頭取 石井 純二

地域産業分析への取組み背景

平成20年度～平成22年度

中期経営計画
新北洋・イノベーションプラン
 地域社会・経済・地域企業をサポート

経営強化計画

- ・財務基盤の強化
- ・中小企業向けの積極的な信用供与
- ・**地域密着型金融の積極的推進**

(平成20年10月～平成23年3月)

平成20年12月 改正金融機能強化法

平成23年度～平成25年度

中期経営計画
変革の加速
 持続的成長の実現

経営強化計画

- ・お客さまとの信頼関係構築
- ・組織的・継続的なお客さまの事業支援
- ・**地域密着型金融の確立**

(平成23年4月～平成26年3月)

中期経営計画に一本化

地域密着型金融

各 中期経営計画（経営強化計画）に基づき積極的に取組み

- ・新規、創業支援
- ・成長分野支援

・**地域の面的再生への取組み**等

平成26年11月 まち・ひと・しごと創生法

平成26年度～平成28年度

中期経営計画
『挑戦』
 北海道の新しい価値を創造し、ともに成長するステージへ

- ・リレーション拡大による収益力向上

・**地域の成長支援**

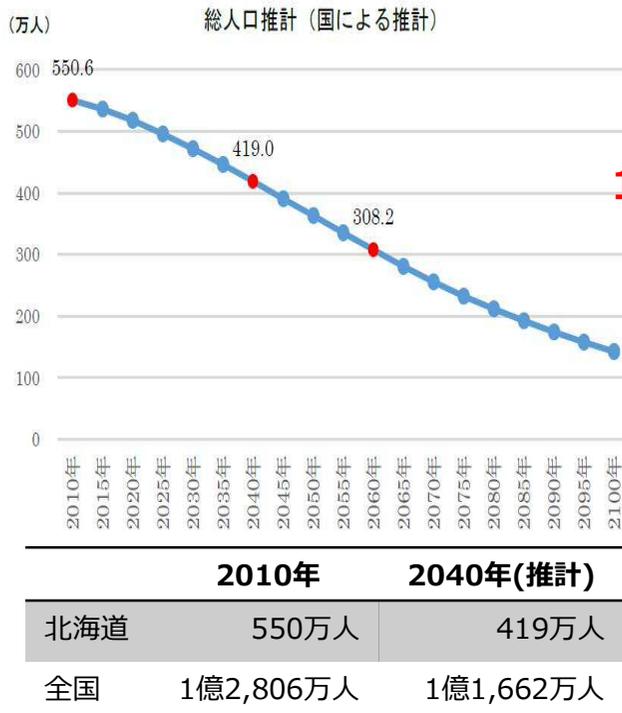
- ・人材の活性化
- ・ローコスト体質の確立
- ・経営基盤の強化
- ・株主価値の向上

北海道のグランドデザインを描いていくため、地域を面的に捉えた産業分析に取組む

北海道の地域産業分析への取組み①

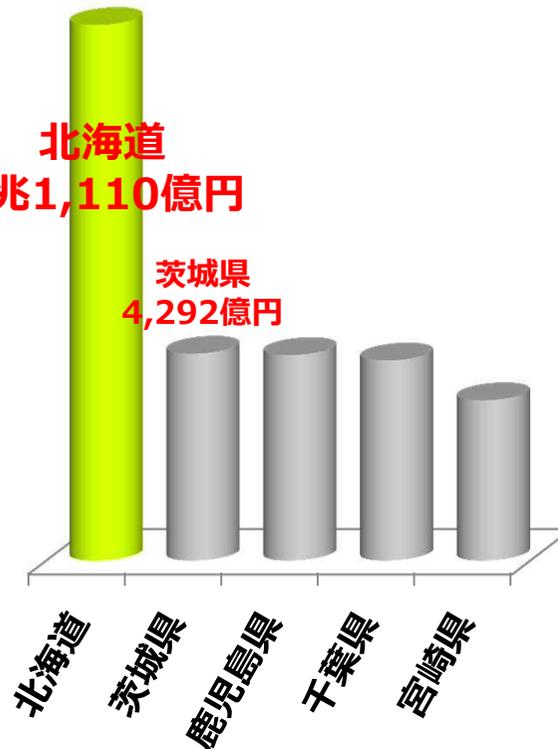
- ①北海道は人口減少が進んでおり、2040年には2010年対比約25%の人口減少見通し。
- ②人口減少を克服し、未来を切り開いていくには、北海道の強みを最大限伸ばしていくことが重要。
- ③北海道の強みは、「食・農業」と「観光」。

北海道の将来推計人口



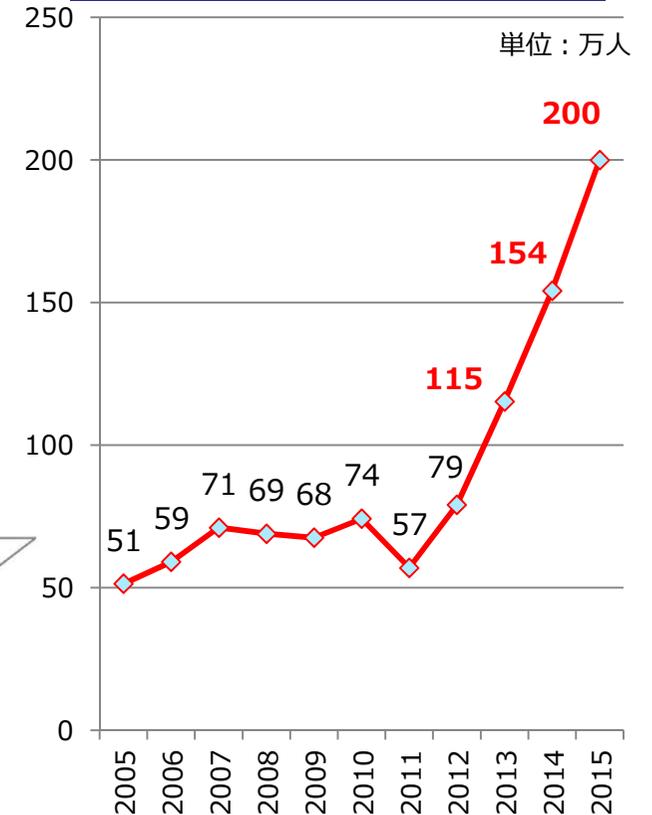
(資料) 国立社会保障・人口問題研究所

農業産出額（2014年）



(資料) 農林水産省統計部『平成26年 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）』

外国人観光客入込客数の推移



(資料) 北海道経済部観光局『北海道の観光統計』 ※2015年度は当行推計

北海道の地域産業分析への取組み②

- ① 北海道の地方創生実現に向け、地方拠点都市の役割が重要（ダム機能）。
- ② 地方拠点都市の「**稼ぐ力**」を見える化し、自治体の総合戦略策定・推進、PDCAサイクル構築を重視。
- ③ まずは「モデル都市」を選定して分析スキームを構築し、**その上で各都市に展開していくことを検討**。

人口規模 8 万人以上

(単位 人)

	市町村名	2010年	2015年	2040年
		総人口	総人口	総人口
1	札幌市	1,913,545	1,936,016	1,753,444
2	旭川市	347,095	347,207	241,526
3	函館市	279,127	271,479	161,469
4	釧路市	181,169	178,394	106,085
5	苫小牧市	173,320	174,064	140,655
6	帯広市	168,057	168,753	125,783
7	小樽市	131,928	125,028	66,696
8	北見市	125,689	122,198	85,985
9	江別市	123,722	120,225	92,980
10	室蘭市	94,535	89,799	60,201
11	千歳市	93,604	95,532	87,851
12	岩見沢市	90,145	86,054	57,166

人口規模 7 万人未満

(単位 人)

	市町村名	2010年	2015年	2040年
		総人口	総人口	総人口
13	恵庭市	69,384	68,956	63,537
14	北広島市	60,353	59,629	44,795
15	石狩市	59,449	59,362	44,665
16	登別市	51,526	50,571	34,853
17	北斗市	48,032	47,967	36,984
18	音更町	45,085	45,391	45,413
19	滝川市	43,170	41,924	25,795
20	網走市	40,998	37,740	29,044
21	稚内市	39,595	36,827	23,623
22	伊達市	36,278	35,802	25,840
23	名寄市	30,591	29,099	22,125
24	根室市	29,201	28,050	15,714

札幌近郊

札幌近郊

札幌近郊

室蘭近郊

函館近郊

帯広近郊

モデル都市として選定

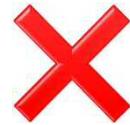
室蘭近郊

[資料] 2010年・2040年総人口：国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計に準拠、2015年総人口：住民基本台帳

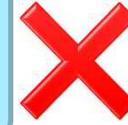
北海道の地域産業分析への取組み③

地域産業分析推進に向けた取組み体制

(株)北洋銀行



(株)北海道二十一世
紀総合研究所



ルートエフ(株)

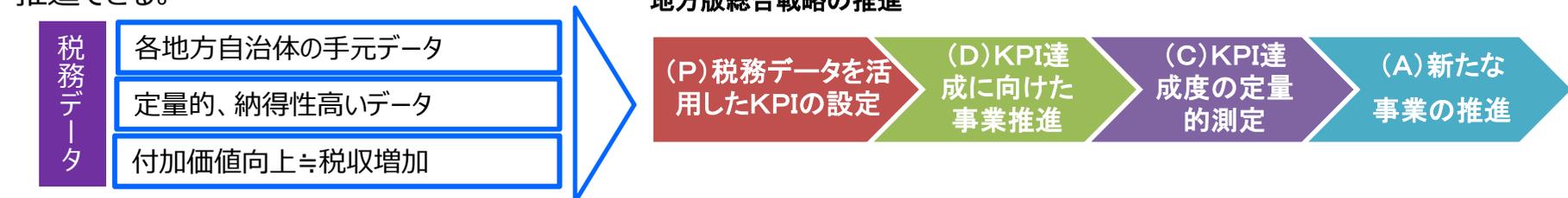
※平成27年6月 地方創生に関する相互連携協力協定を締結

税務データを活用した産業分析モデルの構築

【税務データ活用のメリット】

- ◆ 各地方自治体の手元にある税務データは、もっとも迅速に入手できる「域内産業」の定量情報。
- ◆ 地域内の「稼ぐ力」を測る指標として納得性は高く、かつ戦略や政策を決定していく上でも有効。
- ◆ 税務データをもとに納得性の高いK P Iを設定し、毎年の達成状況をチェック。その上で戦略の修正を加え、実行に移していく（P-D-C-Aサイクルの推進）上で効果的。
- ◆ 地域の付加価値向上を目指すことは、税収増加を目指すことにもつながり、経営的視点をもって地方版総合戦略を推進できる。

地方版総合戦略の推進



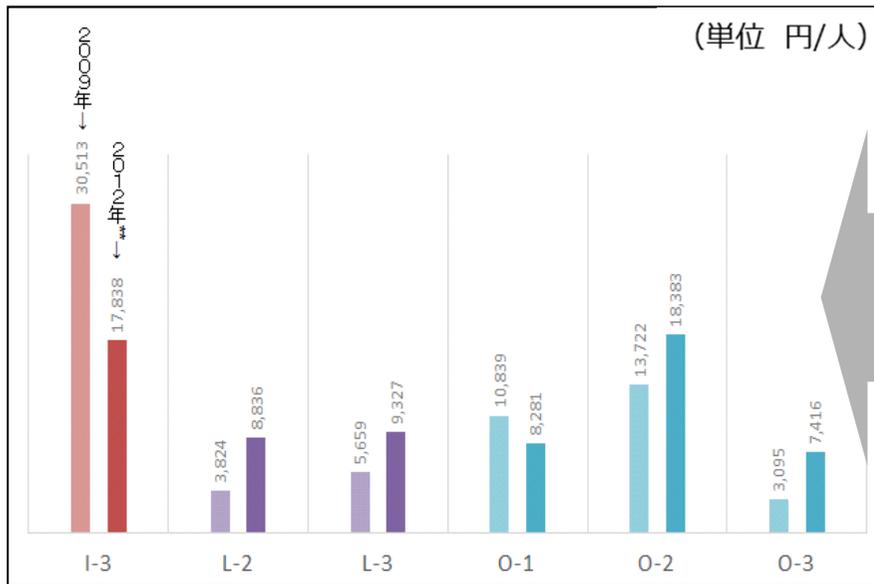
伊達市・網走市は、両市長のリーダーシップのもと本産業分析手法の導入を決定

地域産業分析の仕組みについて



産業区分ごとに付加価値（市町村民税 法人税割）を集計し、域内産業の特徴（傾向）を把握

<< 産業区分ごとに市町村民税 法人税割を集計 >>



付加価値創出を進めるうえでは、**Inbound型**および**Outbound型産業の育成政策が重要**。

I : Inbound型、L : Local型、O : Outbound型
数字はそれぞれ、1次産業、2次産業、3次産業をあらわす。

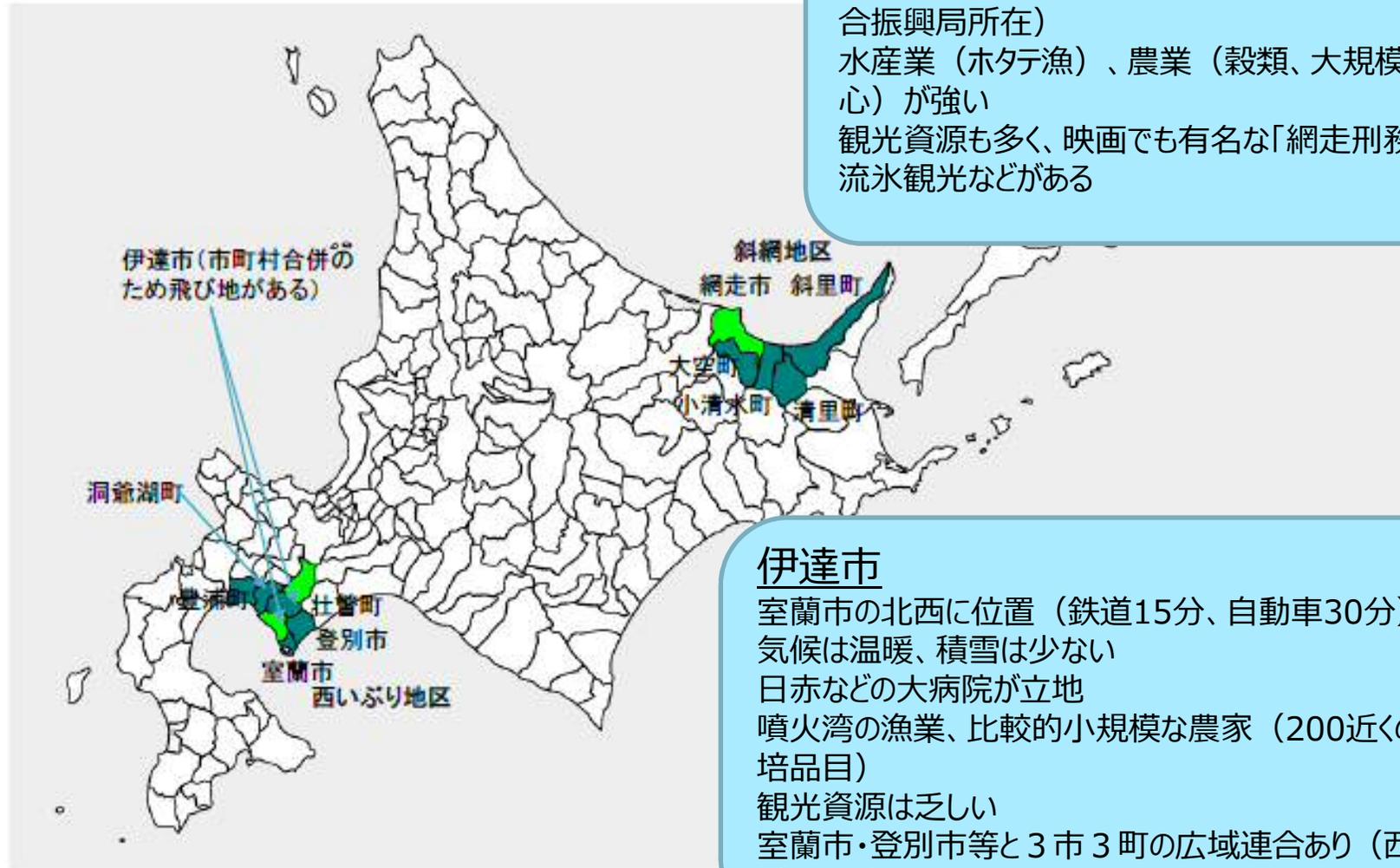
<< 産業区分について～ILO産業分類 >>

Inbound Market (外地から需要を呼び込む)	Local Market (地産地消)	Outbound Market (外地市場を狙う)
		O-1 農林水産
	L-2 食料・飲料等製造	O-2 その他製造
	建設工事	鉱業
I-3 宿泊	L-3 飲食娯楽	O-3 食品卸
	医療福祉介護	その他卸
	金融保険	無店舗小売り
	不動産	情報通信
	電気ガス水道	
	その他サービス	
	地域交通運輸	
	広域交通運輸	

- ◆ Inbound型 : 自治体の外から来訪して消費する顧客を相手とする産業
- ◆ Local型 : 自治体内に居住して消費する顧客を相手とする産業
- ◆ Outbound型 : 自治体外に居住して消費する顧客を相手とする産業

伊達市と網走市

北海道伊達市と網走市



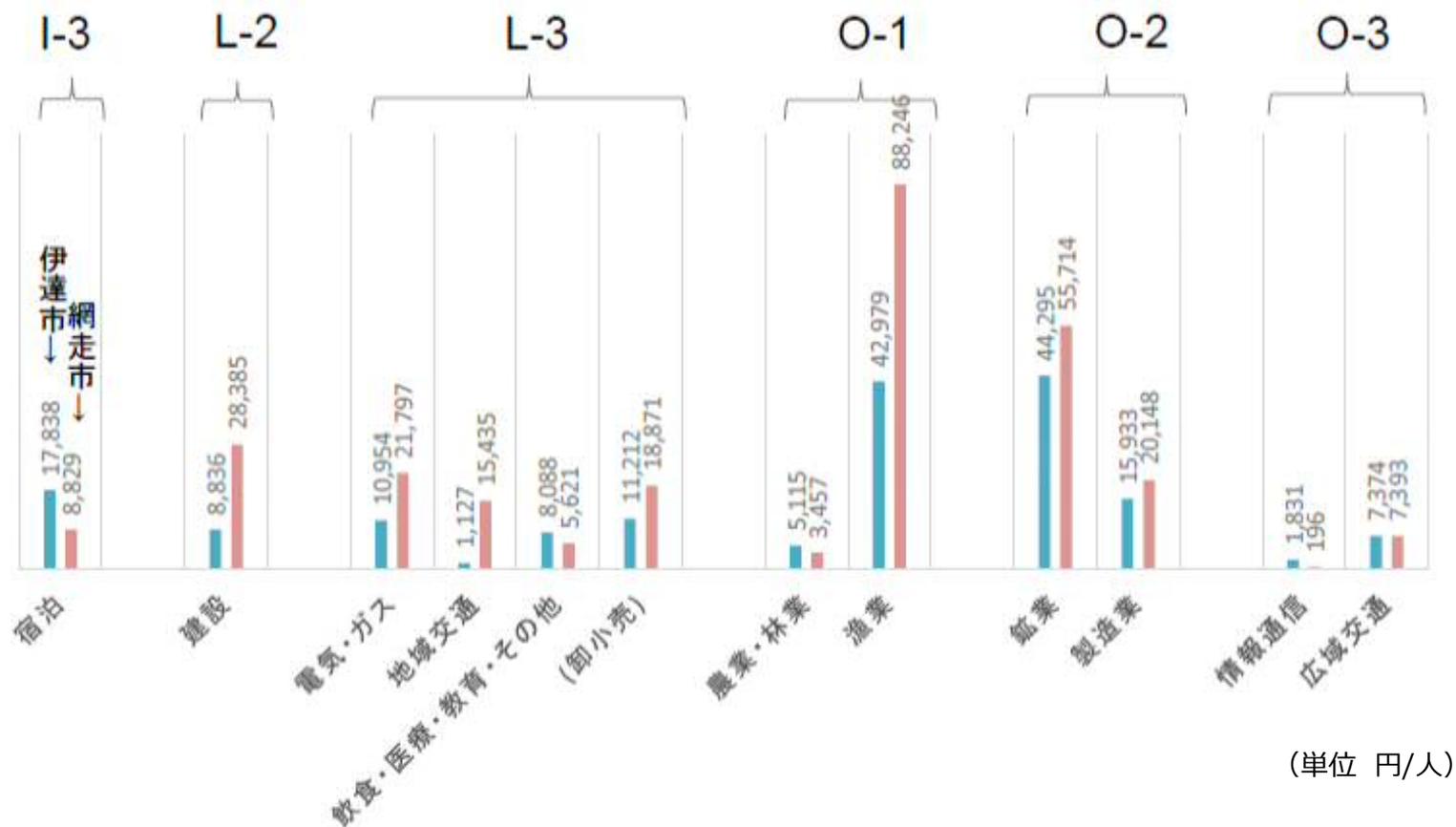
網走市

オホーツク海に面する交通の要所（道庁オホーツク総合振興局所在）
水産業（ホタテ漁）、農業（穀類、大規模農家中心）が強い
観光資源も多く、映画でも有名な「網走刑務所」や流氷観光などがある

伊達市

室蘭市の北西に位置（鉄道15分、自動車30分）
気候は温暖、積雪は少ない
日赤などの大病院が立地
噴火湾の漁業、比較的小規模な農家（200近くの栽培品目）
観光資源は乏しい
室蘭市・登別市等と3市3町の広域連合あり（西いぶり地区）

伊達市と網走市の就業者1人あたりの「市町村民税 法人税割」(2014年)



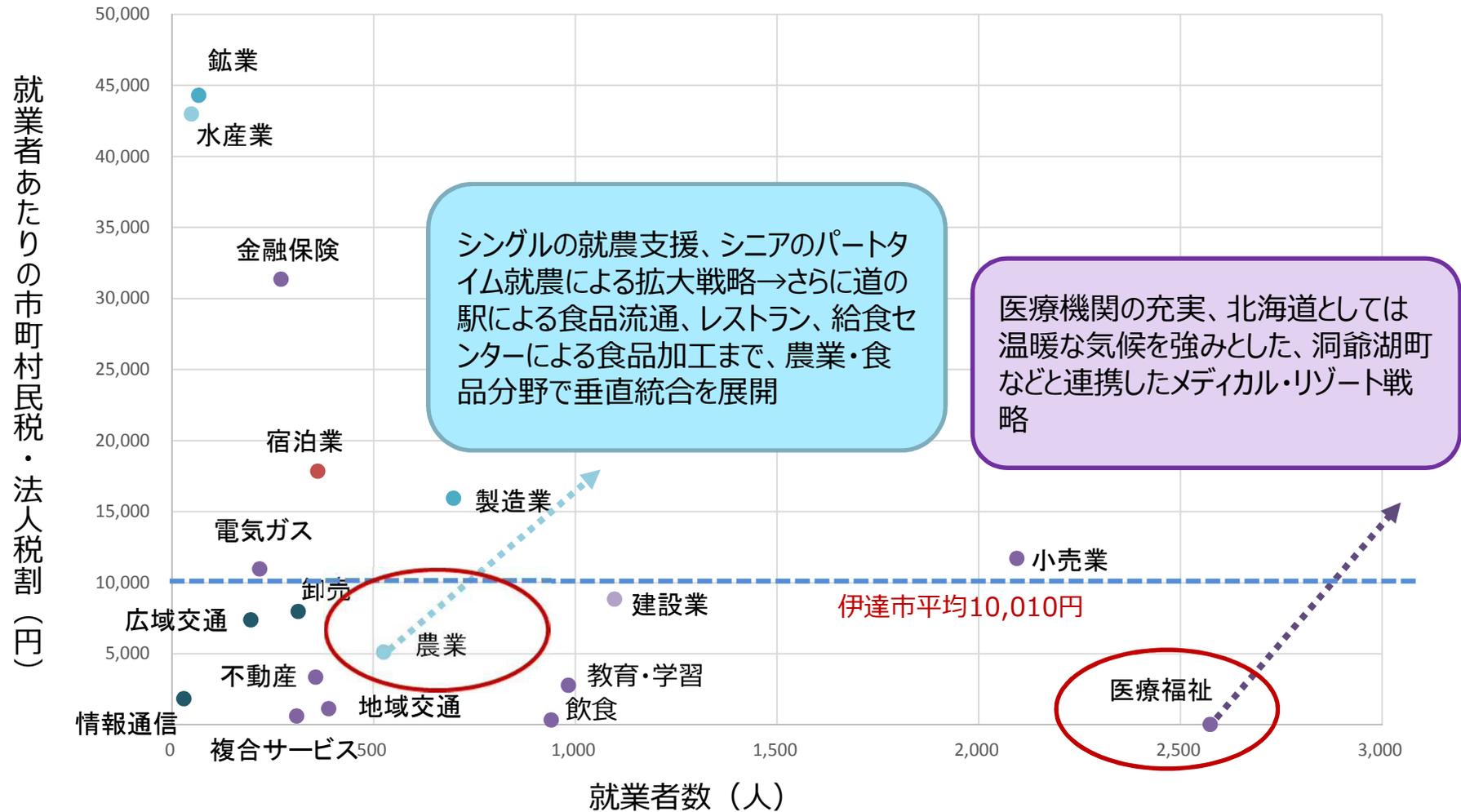
*就業者数は、税務データによる就業者数もしくは経済センサスによる就業者数のどちらか大きい方をとった

**2014年調査の経済センサスは未公表のため、2012年の経済センサスを利用した

資料: RESAS、経済センサス、伊達市、網走市

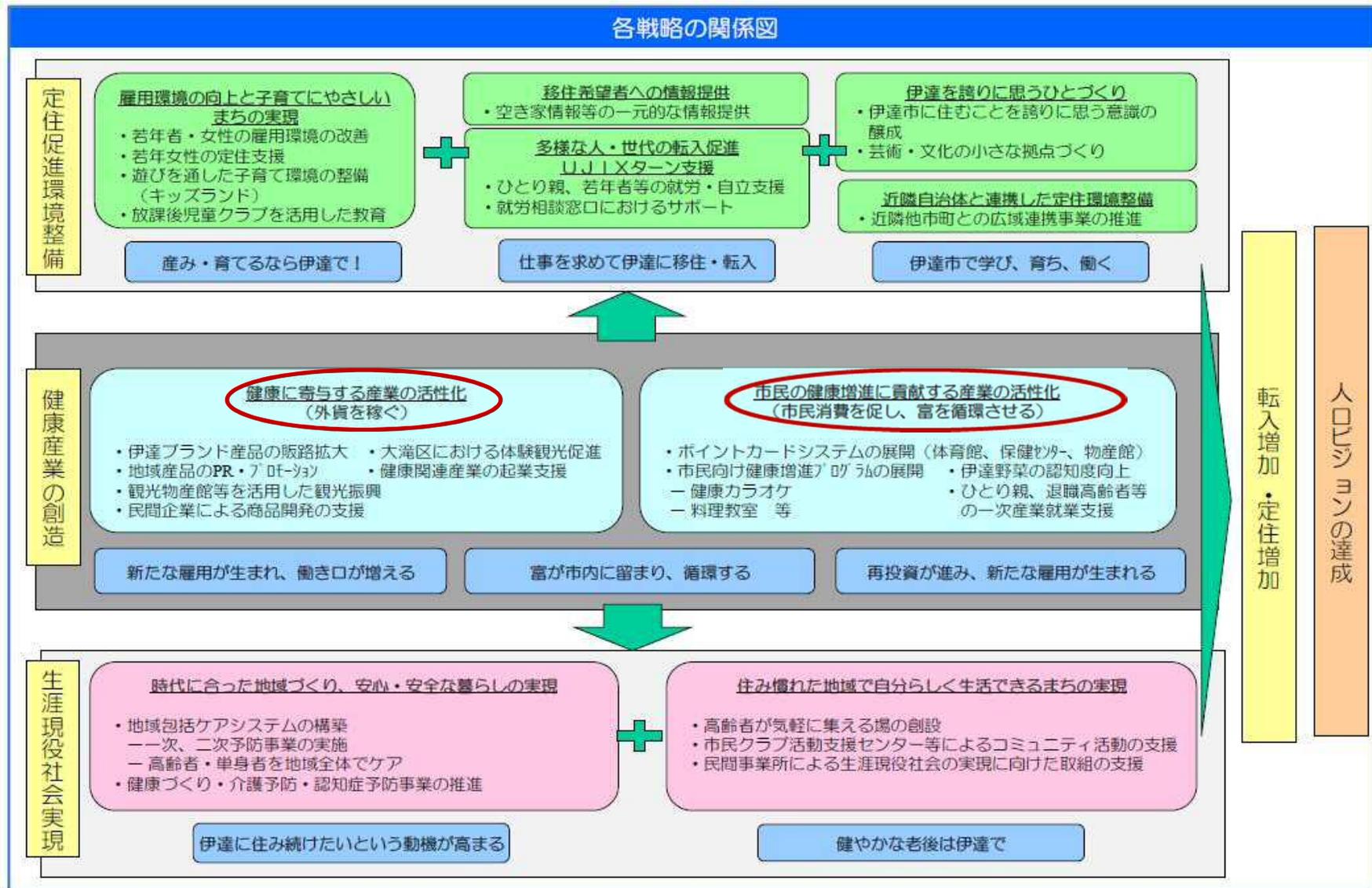
産業分析による伊達市の目指すべき成長戦略について

伊達市の「産業別就業者数」と「就業者あたりの市町村民税 法人税割」



(注) 就業者数は、税務データによる就業者数もしくは経済センサスによる就業者数のどちらか大きいほうをとった。また2014年調査の経済センサスは未公表のため、2012年の経済センサスを利用した。
 (出所) RESAS, 経済センサス、伊達市

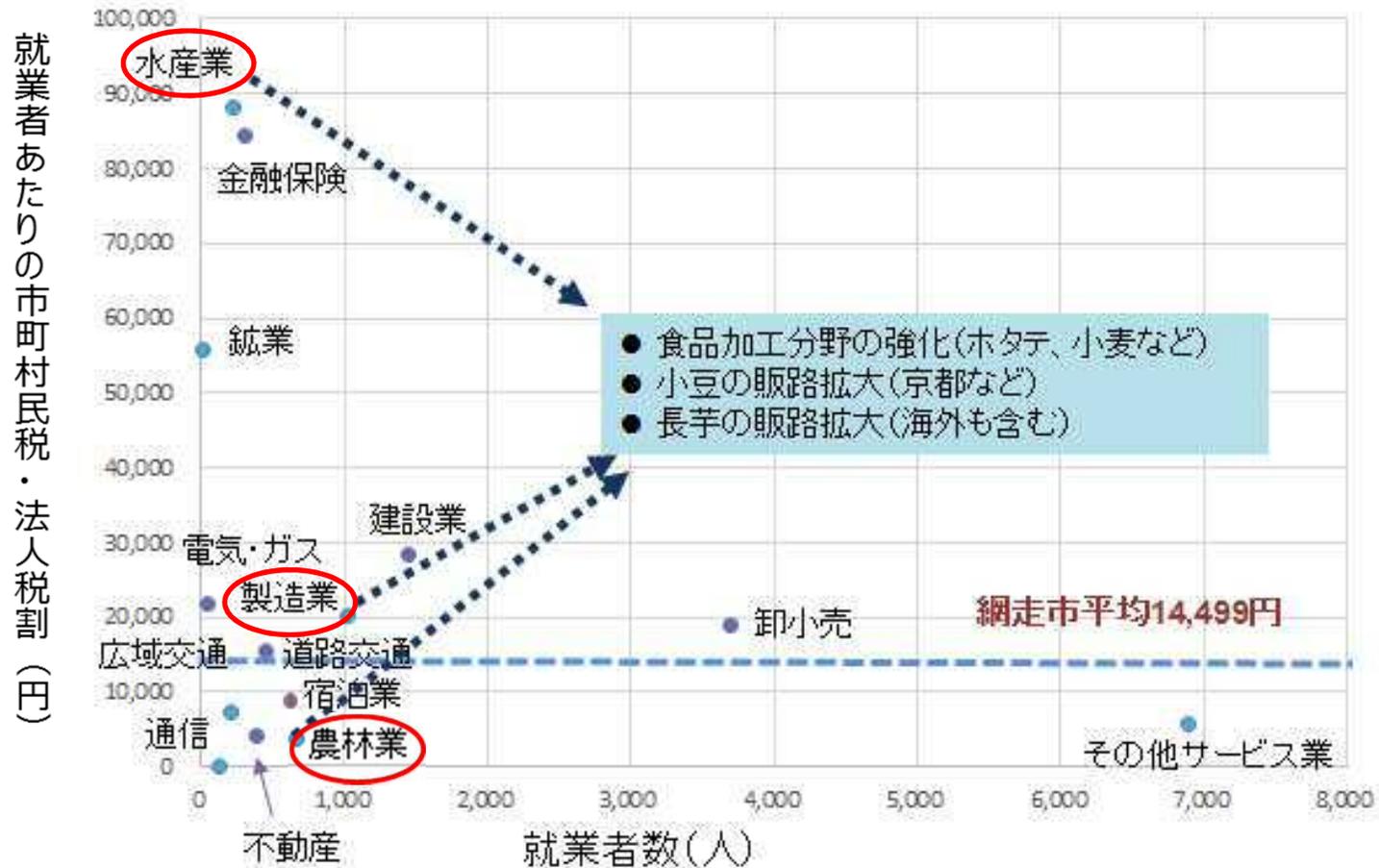
伊達市総合戦略の概要



資料：伊達市まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

産業分析による網走市の目指すべき成長戦略について

網走市の「産業別就業者数」と「就業者あたりの市町村民税 法人税割」



*就業者数は、税務データによる就業者数もしくは経済センサスによる就業者数のどちらか大きい方をとった。また、2014年調査の経済センサスは未公表のため、2012年の経済センサスを利用した

資料: RESAS 経済センサス 網走市

網走市総合戦略の概要

網走市まち・ひと・しごと創生

総合戦略

—豊かなオホーツクに活気みなぎるまち網走—

【概要版】

平成27年10月初版

『網走市人口ビジョン』を基礎として、国の『まち・ひと・しごと創生総合戦略』及び北海道の『北海道創生総合戦略』の方針を勘案しながら、網走市の人口動態を見据え、地域特性を生かした積極戦略と調整戦略を同時並行的に進め、市民の住み良い環境を持続的に確保するための戦略『網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略』（以下『本戦略』という。）を策定しました。

第5期網走市総合計画との関係

本戦略は、2008年度（平成20年度）から2017年度（平成29年度）までの網走市がめざすまちの姿や目標、各分野におけるまちづくりの方向などを示している『第5期網走市総合計画』の戦略版と位置付けます。

基本目標 1

若い世代を中心として、安心して働くための
産業振興と雇用の場の創出

評価指標	基準値 (H24)	目標値 (H31)
市内事業者の従業員数 (経済センサス速報調査)	16,474人	16,000人

1 産業振興策の構築

網走の強みである一次産業の振興策を積極的・継続的に取り込むとともに、多様で付加価値を高める産業の創出を促進することにより、社会経済環境の変化にも耐え得る社会基盤の構築を図ります。

【地域産業の競争力を強化する取組】

- ブランド化と高付加価値化の推進
- 強い農林水産基盤の形成
- 中心市街地と網走川周辺におけるにぎわいの創出

【国内外への販路拡大】

- 販路拡大に向けた支援
- 網走港の活用

産業振興策の構築

【地域産業の競争力を強化する取組】

- ブランド化と高付加価値化の推進
- 強い農林水産基盤の形成
- 中心市街地と網走川周辺のにぎわい創出

【国内外への販路拡大】

- 販路拡大に向けた支援
- 網走港の活用

資料：網走市まち・ひと・しごと総合戦略【概要版】より抜粋

本分析手法の展開と課題について

本分析手法の展開

[目標]

- ✓ 主要都市のサンプルを増やし、比較分析による強み・弱みを把握
- ✓ 主要都市を中心とした広域経済圏分析への発展・連携の推進

[具体的展開]

昨年12月に道庁・道内各市に声かけを行い、本分析手法に関するセミナーを開催（全道ベースの発信）



- ① 道内主要都市への展開
- ② 主要都市を中心とした広域連携に着目した展開

課題

[分析上の課題]

- ✓ 農林水産業など個人として営まれている分野を包含できない
- ✓ 市町村ごとの産業中分類の就業者数情報がない
- ✓ 法人住民税データは、市町村ごとに管理方法が異なるため、分析に際して加工が必要。（市町村ごとに産業分類コードも異なる）

[推進上の課題]

- ✓ 税務データの秘匿性の高さ
- ✓ 市町村長が本分析手法の導入について、積極的に導入の意思を示すことが重要
- ✓ 市町村における導入費用の予算確保
- ✓ 税務データをKPIとして活用するための仕組みづくり
- ✓ 広域展開、あるいは比較分析を行っていくためには、多くの自治体のサンプリングが必要